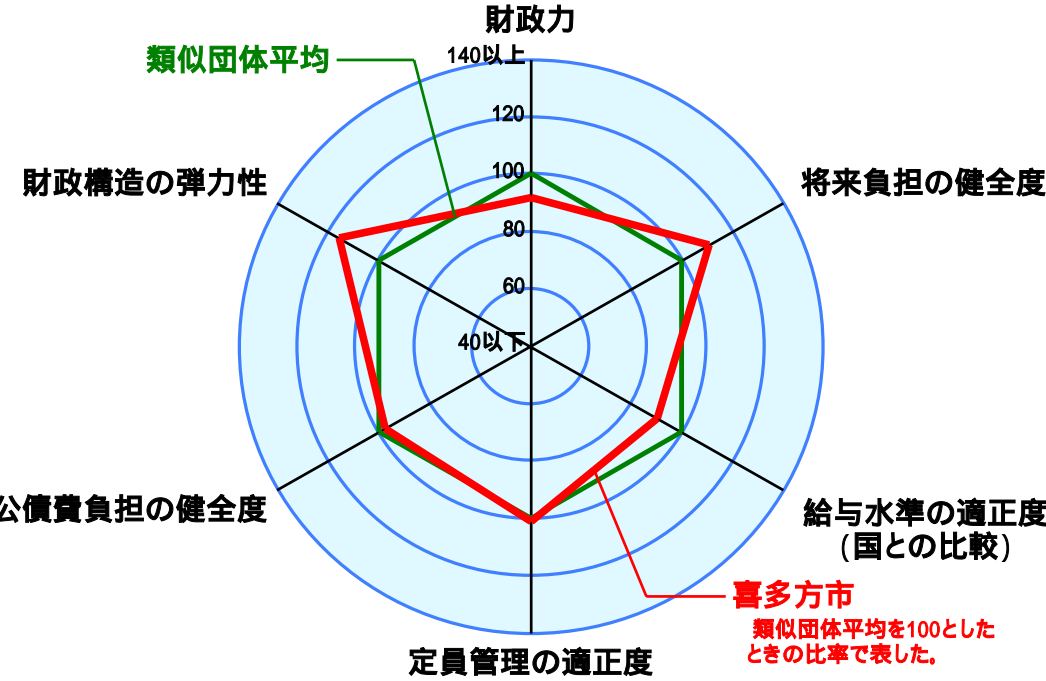
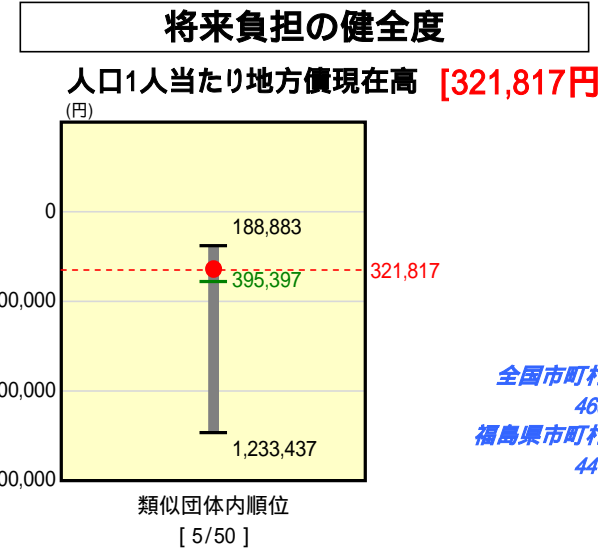
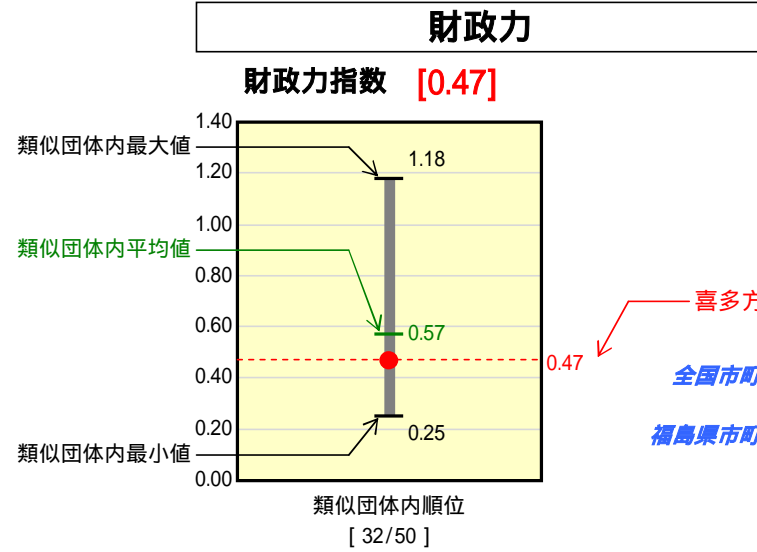


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 喜多方市

人口	36,158 人(H17.3.31現在)
面積	150.40 km ²
歳入総額	12,418,525 千円
歳出総額	12,254,436 千円
実質収支	131,372 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数：他の類似団体と比較して0.1ポイント下まわっているが、税収の確保や歳出事業の見直しを行い、平均値に近づけるようにする。

経常収支比率：人件費の占める割合が多いが、他の類似団体に比べて老人福祉施設、保育所、幼稚園が多いため、平成17年度からは老人福祉施設を民間に移管した。また、経常経費全体について費用対効果分析等により事務事業の見直しを行い、経費の削減を図る。

起債制限比率：平成8年度から12年度まで総務省通知による公債費負担適正化計画を策定し、計画的に地方債の繰上償還を実施し起債制限比率については、平成12年度までに低下(平成8年度比3.1ポイント減)させることができた。(平成8年度比で16年度までに3.9ポイント減)

一人当たり地方債残高：主要因は、平成2年度から7年度に実施した社会福祉施設や教育施設等の整備や債務負担行為である国営土地改良事業であるが、新規発行債の抑制を行うなど財政の健全化に努めてきた(8年度以降公債費比率8.7%減)が、今後市町村合併による発行額の増加が見込まれるが、他の事業の発行抑制などにより、類似団体平均を上回らないよう努める。

ラスパイレス指数：国の制度に沿って55歳昇給停止、退職時の特昇の廃止等適正化に努めている。

人口1,000人当たり職員数：総務省通知による定員適正化計画に沿って職員数削減に努めている。(平成16年度7名減)

